

# ICANNロンドン会議概要報告

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター IP事業部・インターネット推進部 奥谷泉



## ロンドン会議

- 開催期間:2014年6月22日(日)~26日(木)
- 会場: Hilton London Metropole Hotel
- 参加者:約3,300名





ATLAS II、High Level Meetingと併催 High Level Meeting: 75ヶ国の政府関係者と 11の政府間組織から、合計110名が参加

## オープニングセッション

- 英国政府の代表者、ウェールズを代表する政府の方からそれぞれスピーチ
  - 英国政府は、政府にも一定の役割があるとしなが ら、民間主導を基本的に支持する立場を表明
- 今回は中国政府の代表者もスピーチを行い、 中国の重視する方針が示された
- レバノンでブラジルのCGI.brをモデルとした、 マルチステークホルダーによりインターネットの諸課題を検討する機関設立の発表
  - Lebanese Internet Center



# オープニングセッション











# 今回の特徴

- IANA機能の監督権限移管とそれを取り巻くガ バナンスに関する議論に参加者の関心が集中
  - High Level Meetingでも議論され、各国政府の姿勢を 確認するよい機会
  - ICANNの説明責任も着目、特化したセッション開催
- 新gTLDについては、今回のラウンドを振り返 り、今後のあり方を検討する動き
  - 新たな課題はないが、政府諮問委員会(GAC)の勧告 で指摘されている文字列など、一部継続課題あり
  - 新gTLDの利用事例を紹介するセッションなど、実 際の利用を見据えた情報交換が見受けられた
  - GNSOで今回の新gTLD追加のラウンドを検証し、次 のラウンドに備える決議 Copyright © 2014 Japan Network Information Center



## ICANNの説明責任

- IANA監督権限の移管に伴い、米国政府による 監督が無くなる状態を踏まえて、ICANN自身 が、どの程度信頼に足り得るのかの懸念
  - GNSOのすべての部会が共同でICANN理事会の判断 への透明性と再考の仕組みを求める声明を発表
  - フランス政府は、ICANNで適切な意思決定プロセス が機能していないと批判(.wineおよび.vinの文字列)
- 「ICANNの説明責任における対応が明確でないならば、IANA機能の監督権限移管を進めるべきではない」との意見も表明されている
- ICANN50では専門家を交えてICANNの説明責任 の現状を確認し、参加者と議論

# IANA機能の監督権限の移管

- ICANN49以降、検討する枠組みを議論し、 Coordination Groupが調整することで合意
- このテーマに特化したセッションを開催
  - IETFチェア、SSACチェアがセッションの議長を務め、 議論をリード
  - ICANNの説明責任も併せて着目されており、ふたつの関係性を整理
- ICANNの説明責任のうち「全般的な課題」と「IANA機能の監督権限に関わるもの」は分けて検討することで参加者が賛同
- その後の進捗を含めて詳細は第2回日本イン アメターネットガバナンス会合でご報告します

# IANA機能の監督権限の移管 セッションの様子







### ICANN50での「ICANN説明責任」 「IANA機能監督権限の移管」セッション

- High Level Meetingの傍聴
  - http://london50.icann.org/en/schedule/mon-ianastewardship-transition-hlgm
- Enhancing ICANN Accountability
  - http://london50.icann.org/en/schedule/thu-enhancingaccountability
- Transition of NTIA's Stewardship of the IANA Functions
  - http://london50.icann.org/en/schedule/thu-ianastewardship-transition



# 新gTLDに関する動向

- ICANNのgTLD部門からの新gTLDの進捗報告
  - 順調に進み、新たな課題は浮上していない
  - すべての申請者への委任が完了は2017年の見通し
- GACのから表明されている懸案事項
  - ワインを表す.wineや.vinの文字列の登録
  - 政府間組織(IGO)や非政府間国際機構(INGO)の名称登録録における保護
    - GNSO議長から、GACの懸念を踏まえた対応の再考表明
- その他
  - 次のラウンドに向けて今回のラウンドを評価する ことをGNSOで決議
  - 国コードと重なる文字列の利用(ccNSOで議論)

# 新gTLDに関する動向(続)

- 新gTLDの利用に関する議論・情報交換
  - TLD Universal Acceptance :
    - https://london50.icann.org/en/schedule/wed-tld-acceptance
  - New gTLD 'Stories' Panel:
    - https://london50.icann.org/en/schedule/mon-new-gtld-stories
- IDNのルートゾーンへの追加に伴う検討「IDN Root Zone LGR Generation Panels Workshop」
  - 国際化ドメイン名(IDN)における異体字の取り扱い の検討において中国語、韓国語、日本語のパネル がそれぞれ進捗報告
    - https://london50.icann.org/en/schedule/wed-lgr
  - 株式会社日本レジストリサービス(JPRS)が日本語パ ネルの状況を紹介



# 名前衝突

- ICANN50では、ICANNから委託された第三者の 調査機関であるJAS Global Advisorsから理事会 に最終報告書を提出 (14の勧告)
- ・主な勧告
  - (.corp、.homeに加えて).mailも委任を無期限で保留
  - Second Level Domain (SLD)における登録制限解除の 条件を明記
  - 名前衝突をしているネットワークへの周知のため に、新gTLDレジストリが、委任開始前の一定期間 127.0.53.53のループバックアドレスをDNSに設定す ることを推奨
- 詳細は「名前衝突関連報告」で本日別途ご報



# ICANN50での名前衝突に関する セッション

- Name Collision
  - https://london50.icann.org/en/schedule/mon-namecollision
- Final "Phase One Report on Mitigating the Risk of DNS Namespace Collisions"
  - https://www.icann.org/en/system/files/files/namecollision-mitigation-study-06jun14-en.pdf



## gTLD WHOIS

- gTLD WHOISの目的・登録情報・公開方針の抜 本的な見直し、次世代WHOIS案のたたき台作 成
  - 名称「Registration Directory Services: RDS」
  - ICANN50で専門家グループ(Expert Working Group: EWG)から理事会へ最終報告書を提出
  - 今後ポリシー策定の必要性を理事会で検討
- 非ASCII言語での連絡先情報の翻訳および変換 に関するポリシー策定
  - 連絡先情報を単一の言語、単一のスクリプトに変 換するべきか、誰がその責任を担うべきか
  - WGが設立され、検討開始



# gTLD WHOIS見直しの目的

- WHOIS は個々の状況に応じるより一律の対応
- 特定されないユーザにパブリックなアクセス を提供
- 責任やアブビュー対応が薄い
- 個人のプライバシー保護/異なる法令への対応 があまりできていない
- 登録情報の正しさを保証できることが少ない
- セキュリティ、監査の機能の欠如
- 連絡先の管理が煩雑

既存のgTLD、新g TLD共に対象



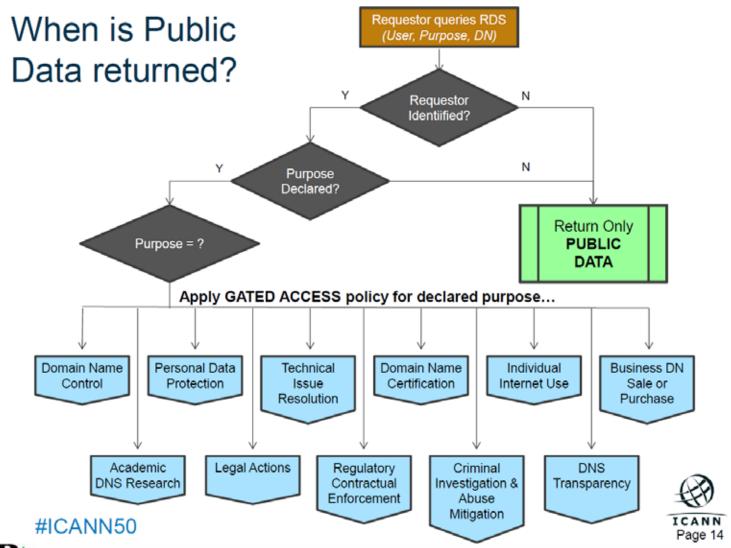
# 参考:RDSの利用者と目的

#### RDS Users and Purposes

ドメイン名の管理 + Based on use case analysis Domain Name Control Technical 技術的な問題の解決 Issue REGISTRATION DATA USERS Protection Resolution All Registrants **Protected Registrants** Individual Internet Tech Staff Internet Use 個別のインターネット On-Line Service Providers Provision 上の利用 gTLD Registration Data Individual Internet Users 販売<sub>mmended</sub> Purposes **Business Internet Users** Domain Name ✓ Intellectual Property Owners Purchase/Sale Research ドメイン名に関する調査 Internet Researchers 訴訟 LEA/OpSec Investigators Regulatory/ 規制/契約の執行 Non-LEA Investigators Legal Actions Contractual ■ Bad Actors Mitigation



# 参考:目的と検索者の属性に応じて参照情報を制限





# 参考:登録情報項目の例

#### Sample RDS Record

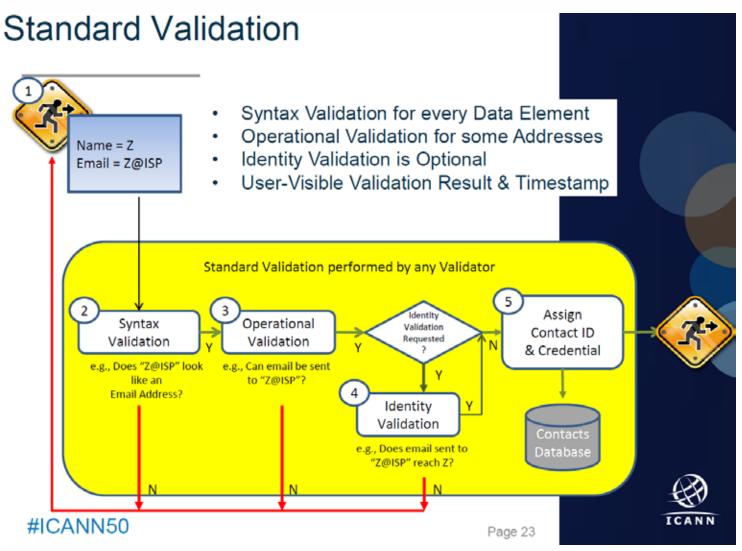
Registry or Registrar Source	Registrant Source	Optional Role Based Contacts
Registration Status	Domain Name	Contact Name
DNSSEC Delegation	Name Server	Contact Role
Client Status	Registrant Name	Contact ID
Server Status	Registrant Type	Contact Organization
Registrar	Registrant Contact ID (issued by	Contact Street
Reseller	RDS-accredited Validator)	Contact City
Registrar Jurisdiction	Registrant Organization	Contact State/Province
Registry Jurisdiction	Registrant Company Identifier	Contact Postal Code
Registration Contract Language	Registrant Email	Contact Country
Creation Date	Registrant Street	Contact Phone
Original Registration Date	Registrant City	Contact Phone Ext
Registrar Registration Expiration	Registrant State/Province	Contact Email
Date	Registrant Postal Code	Contact Fax
Updated Date	Registrant Country	Contact Fax Ext
Registrar URL	Registrant Phone	Contact SMS
Registrar IANA Number	Registrant Phone Ext	
Registrar Abuse Contact Email	Registrant Fax	
Registrar Abuse Contact Phone	Registrant Fax Ext	
URL of the Internic Complaint	Registrant SMS	
Site		

緑 = 非公開の検討対象

灰色 = 登録任意



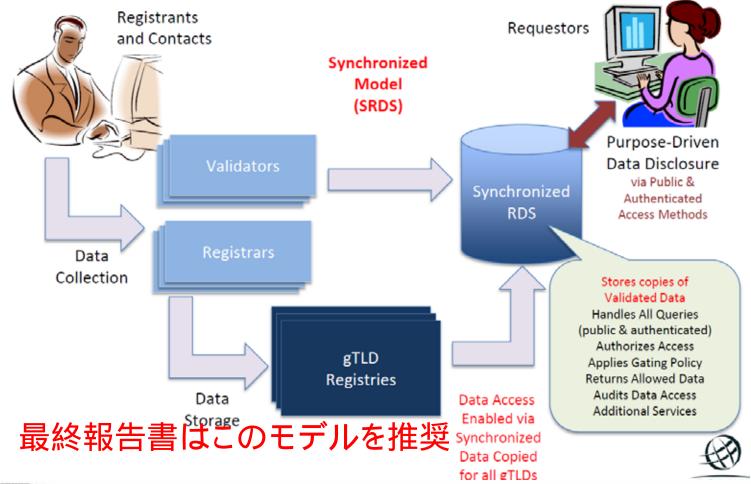
## 参考:登録データの検証・正しさの確認





# 参考:データ集約モデル

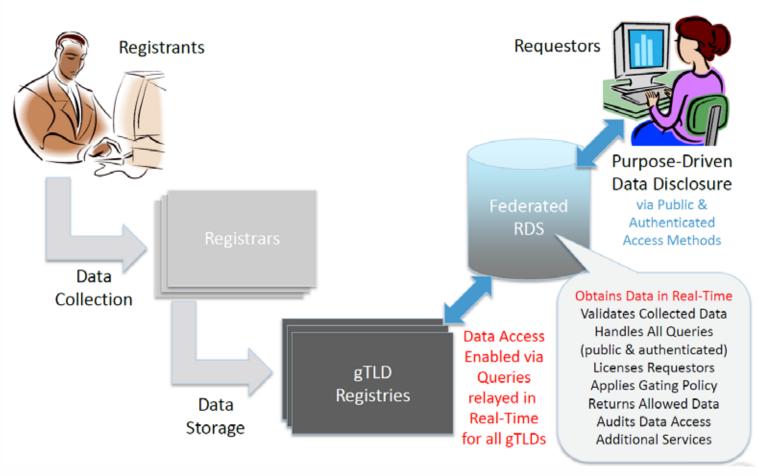
#### Synchronized RDS





# 参考:データ連携モデル

#### Federated RDS





## ICANN50におけるWHOIS関連の セッション

#### • gTLD WHOIS の見直し:

- Exploring Replacements for WHOIS The Next Generation Directory Services
  - http://london50.icann.org/en/schedule/mon-ewg-final-overview
- 専門家グループ(EWG)による最終報告書
  - https://www.icann.org/en/system/files/files/final-report-06jun14-en.pdf

#### • その他:

- Thick Whois Consensus Policy Implementation Meeting
  - http://london50.icann.org/en/schedule/mon-thick-whois
- GNSO PDP-WG Translation and Transliteration of Contact Information
  - http://london50.icann.org/en/schedule/wed-transliterationcontact



## ICANN50の振り返り

- 「IANA機能の監督権限の移管」は「ICANNの説明 責任」との棲み分けが整理され、今後具体的な議 論が進むことを期待
  - ICANN50後、Coordination Groupのメンバーも決定
- 新gTLD全体として、新たな大きな課題はないが、 一部のGAC勧告対応、名前衝突、Uniseversal Acceptance、IDNの異体字対応が継続課題
  - 名前衝突は、周知に向けてより具体的な対策案が 明確になり、国内に向けても名前衝突が発生する 場合のTLDレジストリからの周知方法の共有が必要
- gTLD WHOISの見直しは既存のgTLDも対象となる ため、影響の検証必要



# 次回のICANN会議

- ICANN51 ロサンゼルス会議
  - 2014年10月12日~16日、米国・ロサンゼルス開催
  - http://la51.icann.org/en/



